

下寺尾遺跡群調査研究課題について

史跡整備を含めた保存・活用のための、計画的な確認調査の実施にあたっては調査計画を作成する必要がある。しかしながら、学校敷地が史跡面積の中心部を含む大半を占めており、学校の用に供しているため調査を行うことができない範囲が存在している。これらを踏まえた上で、調査計画を作成するために必要となる課題を抽出し、その優先度を検討する。

調査計画作成に必要となる検討項目案

- ・ 計画作成に必要となる資料の抽出
- ・ 現地調査の優先度

課題の抽出

史跡下寺尾官衙遺跡群

1 高座郡家

- ・ 7次調査大型掘立柱建物址の規模と時期の把握
- ・ 正倉のグラウンド以西の展開
- ・ 郡家推定東側区画遺構以東の官衙関連遺構、遺物の展開の有無
- ・ 正倉移転の可能性の確認
- ・ 郡家南側区画遺構の確認
- ・ 郡家北側区画遺構の確認
- ・ 正殿南側区画遺構の確認
- ・ 郡家廃絶時期の確認

(官衙期の最も新しいと考えられる遺物は9世紀第2四半期～中頃の「厨」墨書土器)

- ・ 郡家区画内主要遺構の把握

グラウンド以外の部分は未調査地点が多く不明な状態。

2 下寺尾廃寺

- ・ 区画遺構南東部における建物有無の確認
- ・ 区画遺構外周辺の建物址確認
- ・ 塔の確認（区画外に存在する可能性もあり）
- ・ 講堂の確認（区画外に存在する可能性もあり）

3 川津

- ・ すでに確認された掘立柱建物の東側に類似する建物有無の確認
- ・ 下寺尾廃寺と川津の間の主要遺構確認

4 祭祀場

- ・ 別地点における祭祀場の有無の確認

5 陸路

- ・ 陸路の確認

史跡下寺尾西方遺跡

1 環濠

- ・ 入口施設の確認
- ・ 南東部の確認
- ・ 北部の確認
- ・ 断面形状変化地点の確認

2 環濠内の集落

- ・ 大型周溝墓の有無の確認
- ・ 掘立柱建物の確認
- ・ 環濠拡張の原因究明
- ・ 焼失住居の焼失原因の究明

3 生産域

- ・ 生産域の位置、規模確認

4 墓域

- ・ 方形周溝墓の分布確認

下寺尾遺跡群

1 官衙直前（古墳時代後期）

- ・ 官衙造営に関わる遺構の確認
- ・ 遺構密度や分布状況からの官衙立地（選地）の原因究明

2 官衙直後（平安期）

- ・ 遺物が多量に出土する遺構、範囲が存在する。官衙との関連性について検証が必要

3 古代の墓域

- ・ 官衙遺跡群と関連する可能性のある墓域の検証

4 官衙周辺集落

- ・ 周辺集落から耳皿などの仏教関連遺物が見つまっている。周辺集落の官衙遺跡群との関係

5 旧地形の確認

・ 台地縁辺部が人工的に削平されている可能性があり、その時期が近世以降と考えられていたが、部分的に古代まで遡る可能性がある。

6 縄文時代西方貝塚の集落規模や構造

7 旧石器時代の痕跡密度